

環境王国「いわて」を担う
いわて第2クリーンセンター

環境活動レポート 2017

(平成28年度実績報告)

対象期間 2016年4月1日~2017年3月31日



2017年1月4日 正面玄関にて

いわて県北クリーン株式会社

代表取締役 松本 榮市

発行日 2017年6月30日

もくじ

- 1. 会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・ P1
- 2. 事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 3. 施設概要と特徴・・・・・・・・・・・・ P3
- 4. 許可品目・・・・・・・・・・・・・・・・ P5
- 5. 環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
- 6. 組織図・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
- 7. 役割と責任・権限・・・・・・・・・・・・ P7
- 8. 環境目標と活動実績・・・・・・・・・・・・ P8
- 9. 環境活動の結果と評価・・・・・・・・・・・・ P8
- 10. 環境関連法規類の遵守状況・・・・・・・・・・・・ P13
- 11. 代表者による全体の評価と見直し・・・・ P13
- 12. 環境保全活動・・・・・・・・・・・・・・・・ P14
- 13. 資格・免許・認定・・・・・・・・・・・・ P17

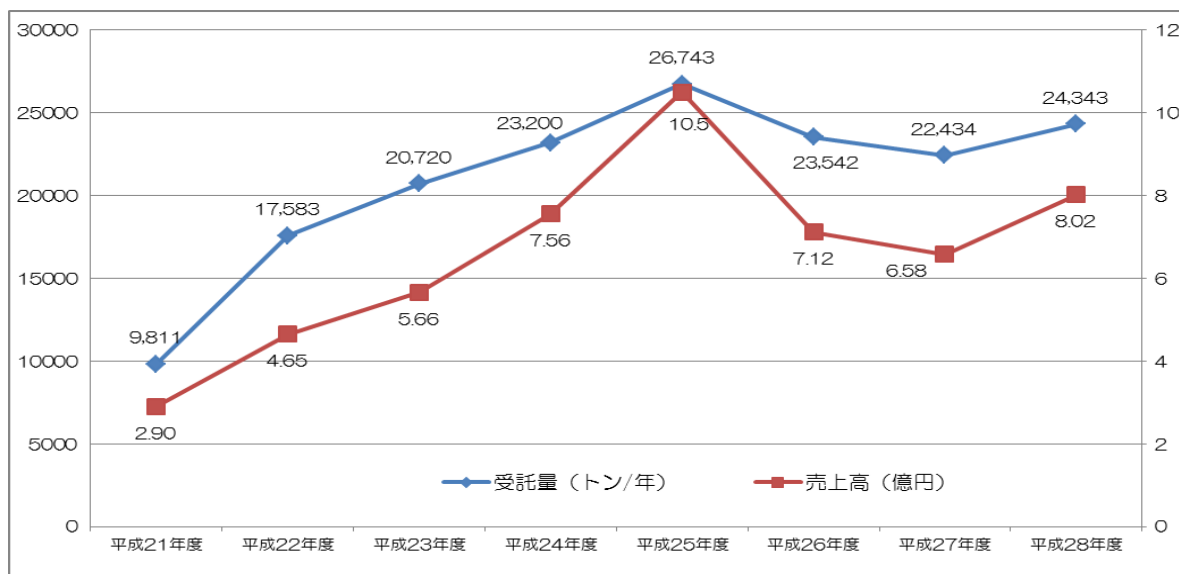


1. 会社概要

会社名 : いわて県北クリーン株式会社
 施設名 : いわて第2クリーンセンター
 所在地 : 〒 028-6505 岩手県九戸郡九戸村大字江刺家第 20 地割 48 番地 34
 代表者 : 代表取締役 松本 榮市
 業務開始 : 平成 21 年 4 月 (設立:平成 18 年 4 月)
 資本金 : 9,000 万円
 株主 : 株式会社タクマ ・ 株式会社タクマテクノス ・ 西松建設株式会社
 事業内容 : 産業廃棄物の中間処理 ・ 特別産業廃棄物の中間処理 ・ 一般廃棄物の中間処理
 売電事業
 従業員数 : 33 名 (平成 29 年 4 月 1 日現在)
 事業面積 : 約 36,000 m²
 環境管理責任者 : 村田 英敏 ・ コミュニケーション窓口 : 村田 英敏
 TEL 0195-42-4085 FAX 0195-42-4550
 Mail info@iwate2cln.co.jp URL <http://www.iwate2cln.co.jp>

会社の沿革

- 平成18年 4月12日 : 株式会社タクマ、株式会社タクマテクノス、西松建設株式会社の出資により設立
- 平成18年10月30日 : 環境大臣による廃棄物処理センター指定
- 平成19年 3月29日 : 産業廃棄物処理施設の設置許可取得
- 平成21年 1月 7日 : 産業廃棄物処理施設の処分業許可取得 (許可番号: 00329146787)
- 平成21年 1月 7日 : 特別管理産業廃棄物処理施設の処分業許可取得 (許可番号: 00379146787)
- 平成21年 4月 1日 : 事業開始
- 平成21年 6月 8日 : 一般廃棄物処理施設の処分業許可取得
- 平成21年 6月30日 : 基準適合産業廃棄物処理業者認定 (中間処理★★取得)
- 平成22年 2月15日 : エコアクション21取得 (全組織・全事業活動対象)
- 平成24年 8月30日 : いわて地球環境にやさしい事業所認定 ★★★取得
- 平成26年 1月 7日 : 産業廃棄物処理施設の処分業許可更新取得 (有効期限: 平成31年1月6日)
- 平成26年 1月 7日 : 特別管理産業廃棄物処理施設の処分業許可更新取得 (有効期限: 平成31年1月6日)
- 平成26年 7月23日 : 産業廃棄物処理施設設置許可取得 (破碎中間処理施設1設置)
- 平成26年11月11日 : 産業廃棄物処分業の事業範囲の変更 (破碎中間処理追加)
- 平成27年 5月15日 : 産業廃棄物処理施設設置許可取得 (破碎中間処理施設2設置)
- 平成27年 5月28日 : 産業廃棄物処分業の事業範囲の変更 (破碎中間処理追加)



2. 事業概要

本事業は、岩手県を発注者とするPFI事業で運営を行っています。岩手県の「自県内処理の推進」及び「資源循環型社会の形成」に基づき、多種多様な廃棄物を適正に処理するための「焼却設備」・「熔融設備」・「破碎設備」があり、あらゆる性状に対応が可能となっています。

処理施設は万全の環境保全対策が施された処理システムにより、安定的かつ安心な施設となっています。

3. 施設概要と特徴

施設名称 : いわて第2クリーンセンター
 設置規模 : ロータリーキルン&ストーカ炉 87.9 t/日 ×1 基
 燃料式表面溶融炉 13t/日 ×1 基
 破碎施設 ×1 施設
 ボイラ型式 : 三胴式廃熱ボイラ
 最高使用圧力 : 3.30 MPa
 常用使用圧力 : 2.90 MPa
 蒸気温度 : 241℃
 最大蒸発量 : 10.2 t/h
 タービン形式 : 復水タービン
 発電出力 : 840 kW



排ガス規制値

種類	法規制値	自主管理値
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	1.0	0.1
SO _x (ppm 以下)	3,761 (K 値 17.5)	50 (K 値 0.25)
NO _x (ppm 以下)	250	100
塩化水素 (ppm 以下)	430	80
ばいじん (g/m ³ N 以下)	0.08	0.02

多種多様な廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）の適正処理

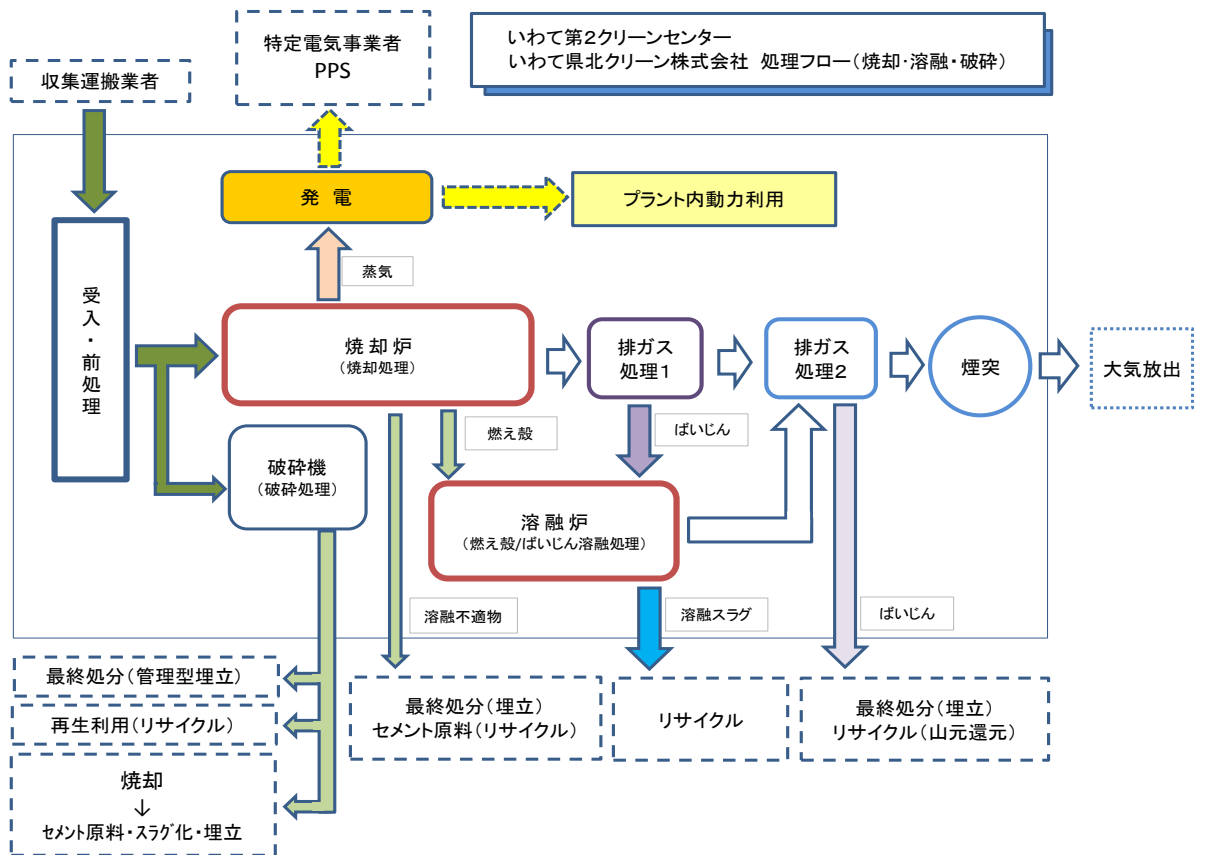
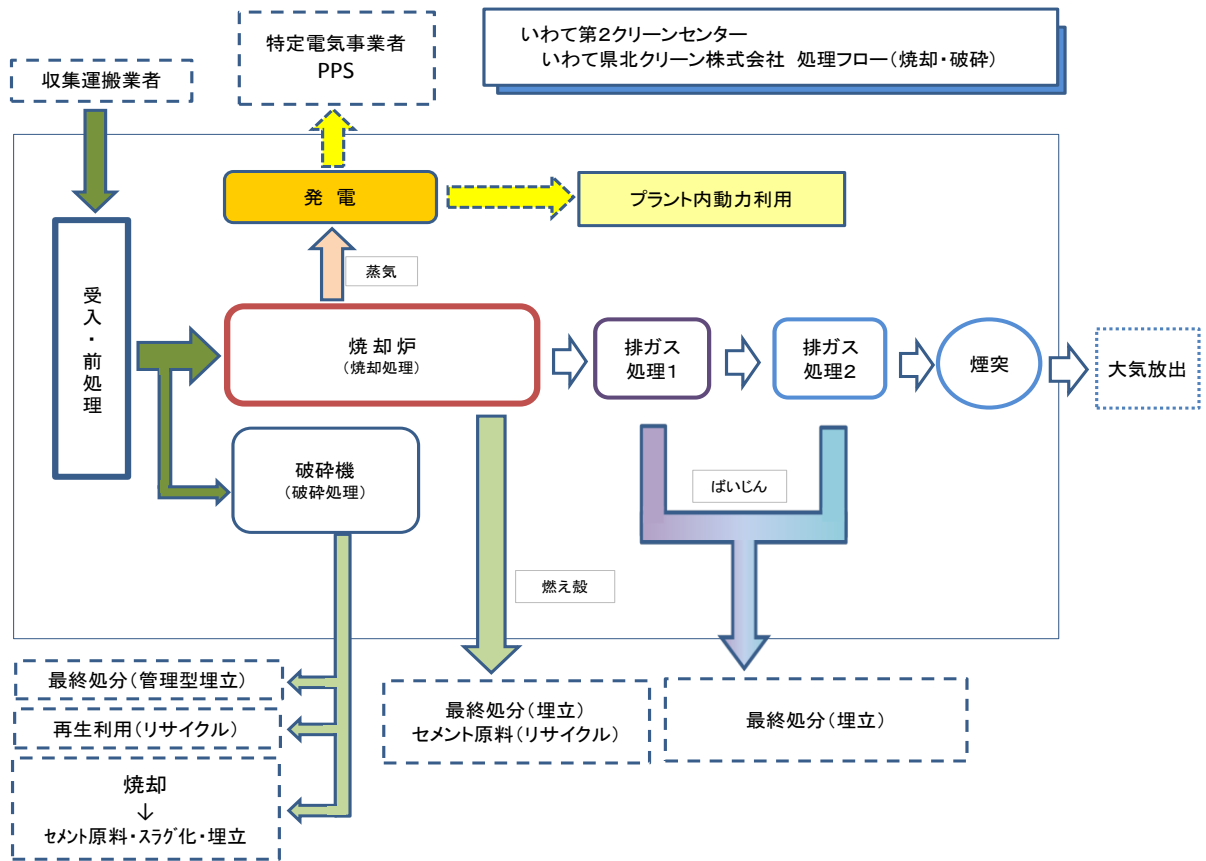
- ◎ 高温処理による完全燃焼と無害化
 - ・ 焼却炉内温度 850℃以上（自主管理値） ※法規制値 800℃以上
 - ・ 溶融炉内温度 1300℃以上

省エネ・資源リサイクルの促進

- ◎ 蒸気タービン発電機 Max.840 kW（発電設備） ※廃熱ボイラ蒸気利用
施設内で使用する電力の全量供給及び余剰電力の売電

周辺環境への配慮

- ◎ 排ガスは環境にやさしい管理値を設け、地域環境保全に配慮
- ◎ クローズドシステムによりプラント排水及び生活排水は施設内において再利用し、場外へは無放流
- ◎ 騒音・振動の発生を抑制した設備の導入及び防音材設置や振動対策床基礎の導入
- ◎ 臭気を外部に放出させない換気システム



4. 許可品目

焼却施設

○産業廃棄物

- ① 廃プラスチック類
- ② 廃油
- ③ 廃酸
- ④ 廃アルカリ
- ⑤ 木くず
- ⑥ 紙くず
- ⑦ 繊維くず
- ⑧ 汚泥
- ⑨ 動植物性残渣
- ⑩ 動物系固形不要物
- ⑪ ゴムくず
- ⑫ 金属くず（他の性状と一体となり分別できないものに限る。）
- ⑬ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（医療系廃棄物に限る。）
- ⑭ 燃え殻
- ⑮ 動物のふん尿

○特別管理産業廃棄物

- ① 廃油
- ② 廃酸
- ③ 廃アルカリ
- ④ 感染性産業廃棄物
- ⑤ 汚泥
- ⑥ 燃え殻

熔融施設

○産業廃棄物 ① 廃プラスチック類 ② 汚泥

○特別管理産業廃棄物 ① 汚泥

破碎施設

○産業廃棄物

- ① 廃プラスチック類
- ② 木くず
- ③ 紙くず
- ④ 繊維くず
- ⑤ ゴムくず
- ⑥ 金属くず
- ⑦ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- ⑧ がれき類



環境方針

《基本理念》

いわて県北クリーン株式会社は、積極的に熱利用を行い、廃棄物の未利用エネルギーを効率的に利用することで CO₂ を削減し、地球温暖化の防止や循環型社会の形成に貢献します。そのためにエコアクション 21 のシステムを導入し環境活動を展開します。

《行動指針》

1. 環境にやさしい事業運営に努めると共に、地域社会に貢献する企業をめざし活動に取り組みます。
2. 事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理項目として取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素の排出量削減に努めます。
 - (2) 廃棄物の削減及びリサイクルに努めます。
 - (3) 使用する水の抑制に努めます。
 - (4) グリーン購入の推進に努めます。
 - (5) 化学物質の削減に努めます。
3. 事業活動に関連した環境関連法規を遵守します。
4. 地域との連携を密にし、環境保全活動に積極的に参加します。
5. 環境方針は社内に掲示し、教育及び会議を通じ社員に理解を深め、積極的に取り組みます。

制定：平成 22 年 5 月 1 日

改定：平成 27 年 6 月 9 日

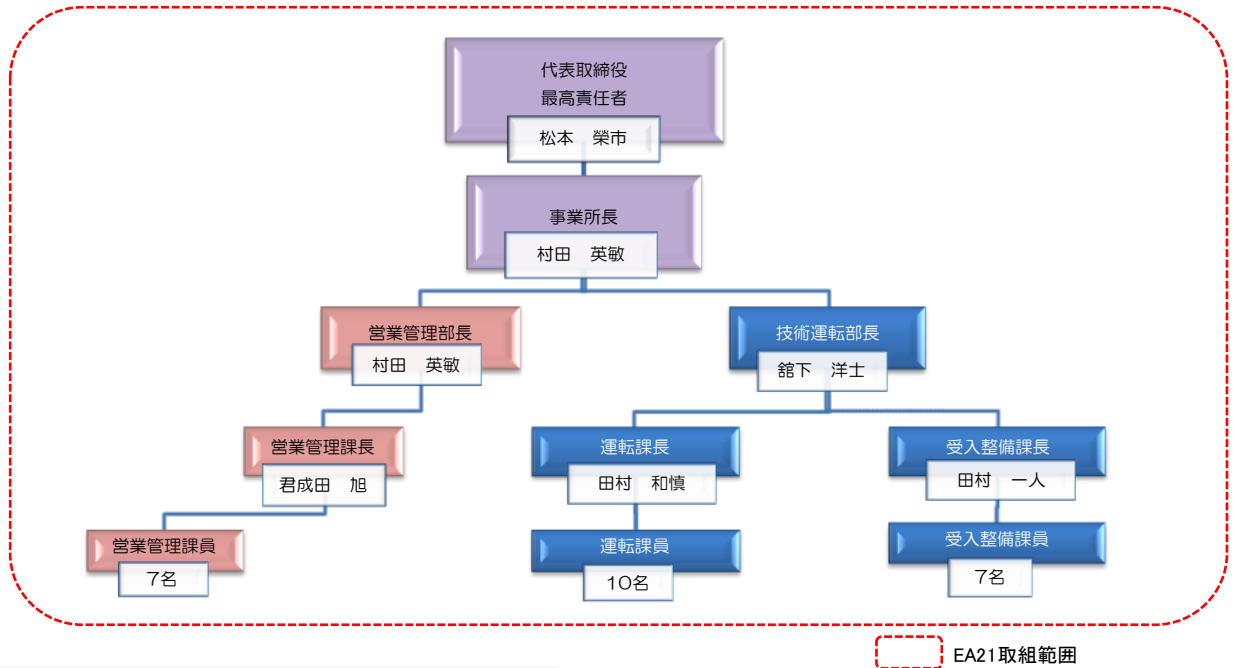
いわて第 2 クリーンセンター

いわて県北クリーン株式会社

代表取締役 松本 栄市



6. 組織図（平成29年4月1日現在）



7. 役割と責任・権限

役割	担当者	役割と責任・権限
代表者	代表取締役	①環境管理責任者の任命 ②環境管理責任者から報告を受けて全体の見直し ③取組に対する資源を用意 ④環境方針を作成する
環境管理責任者	事業所長	①代表者に代わって環境管理システムを構築し運営 ②関連法規の把握をして代表者に情報を報告 ③必要な教育訓練を計画し実施
E A21 事務局	技術運転部長	①環境管理責任者に代わってデータ収集 ②各部署へE A21 の目標数値を周知 ③各部署の実施状況を把握し、環境管理責任者へ報告
防災責任者（防火管理者）	事業所長	①防災計画の立案 ②火元責任者の選任
安全運転管理者	事業所長	① 全運転のために必要な教育・訓練の実施 ②エコドライブの積極的な推進
各部門長	営業管理部長 技術運転部長	①取組み項目の把握及び実施状況の確認 ②各部署へ取組み項目の達成状況を周知 ③必要に応じて各取組み項目の是正及びその指示 ④環境配慮・緊急事態に関する予防措置
社員	全社員	① 取組み項目に対して積極的に実施 ② 境保全活動への積極的な参加

8. 環境目標と活動実績

各年度目標値に対する達成度

■ 目標達成
 ■ 目標未達
 ※達成判定は目標値±10%範囲とする

	単 位	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
1 受電電力量の削減	kWh/t	165	81.6	61.3	23.3	9.1	5.9	4.3	0.0
2 重油使用量の削減	L/t	16.8	4.0	3.1	1.2	0.95	1.07	0.55	2.10
3 軽油使用量の削減	L/t	1.7	1.74	1.77	1.85	1.97	2.30	2.26	2.57
4 ガソリン使用量の削減	L/t		—	—	0.43	0.36	0.36	0.33	0.39
5 上水使用量の削減	m ³ /t	0.85	0.83	0.63	0.75	0.63	0.57	0.72	0.51
6 温室効果ガスの削減	kg-CO ₂ /t	113	57.4	44.0	20.3	13.5	13.0	10.5	12.2
7 発電電力量の増加	kWh/t	189	157.1	119.2	152.0	164.4	209.6	217.4	240.6
8 廃棄物受託量の増加	t/年	9,811	17,583	20,723	23,168	26,743	21,542	22,434	24,239
9 消石灰使用量の削減	kg/t	32.9	35.9	27.0	25.5	27.8	25.6	29.4	29.4
10 グリーン購入率の増加	%/年		—	—	73.1	63.3	71.5	86.0	86.0

9. 環境活動の結果と評価

「 受電電力量の削減 」

平成 28 年度 目標 5.7kWh/t

平成 28 年度 実績 0.0kWh/t

達成率 199.8%

取組内容

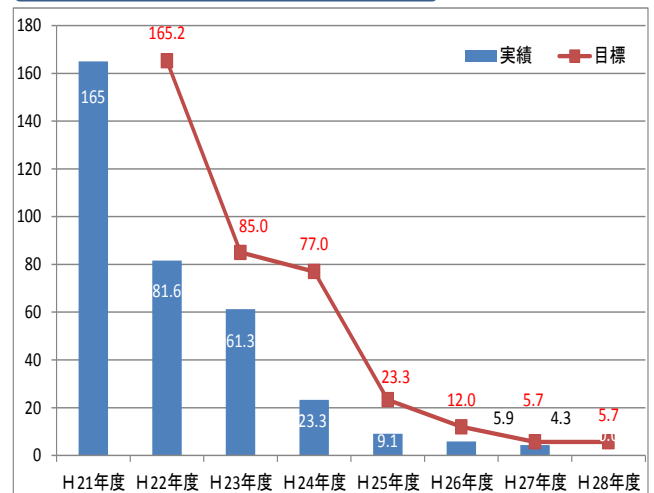
安定的な発電により受電電力を削減できるように投入ゴミの熱量を均一化する。

活動結果と評価

年度を通して計画通りの連続稼働と安定操業ができた。

*平成 26 年度の電気事業者別二酸化炭素
排出係数：0.000572 (t-CO₂/kWh)

受電電力量の削減 (kWh/t)



<平成 29 年度 目標 0.0kWh/t>

取組内容

安定的な発電により受電電力を削減できるように投入ゴミの熱量を均一化する。

「 重油使用量の削減 」

平成 28 年度 目標 0.70L / t
 平成 28 年度 実績 2.10L / t
 達成率 -100%

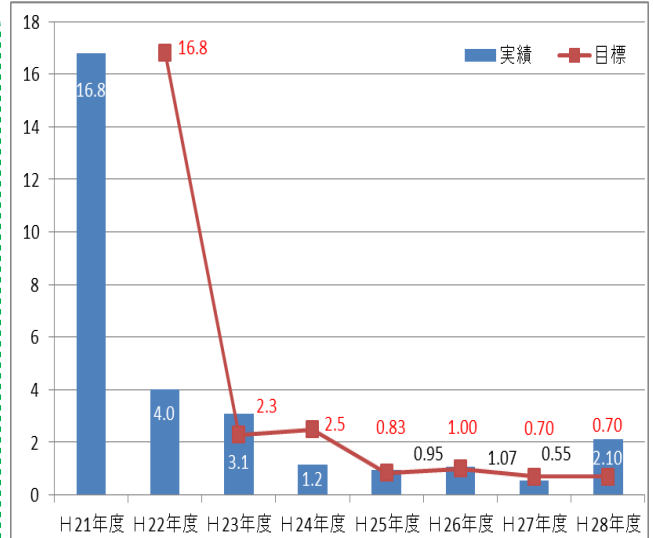
取組内容

炉内温度低下時は廃油を有効的に処理することで、助燃用の重油使用量を削減する。

活動結果と評価

上期は順調に推移していたが、下期は廃棄物の供給不良回数が増加し、使用量が増加した。

重油使用量の削減 (L / t)



<平成 29 年度 目標 0.70L / t >

取組内容

炉内温度低下時は廃油を有効的に処理することで、助燃用の重油使用量を削減する。

「 軽油使用量の削減 」

平成 28 年度 目標 2.20L / t
 平成 28 年度 実績 2.57L / t
 達成率 83.0%

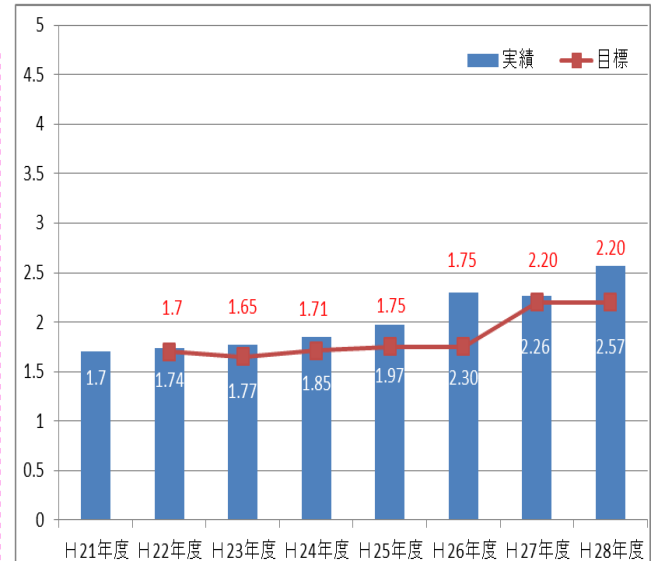
取組内容

- ①作業効率を上げて重機使用時間を短縮する。
- ②小まめな点検清掃で重機を適正に保ち燃費を向上させる。

活動結果と評価

作業に使用する分は取組内容で削減できたが、除雪分が予想より増加した。

軽油使用量の削減 (L / t)



<平成 29 年度 目標 2.20L / t >

取組内容

- ・作業効率を上げて重機の使用時間を短縮する。
- ・小まめな点検清掃で重機を適正に保ち燃費を向上させる。

「 ガソリン使用量の削減 」

平成 28 年度 目標 0.36L / t

平成 28 年度 実績 0.39L / t

達成率 91.1%

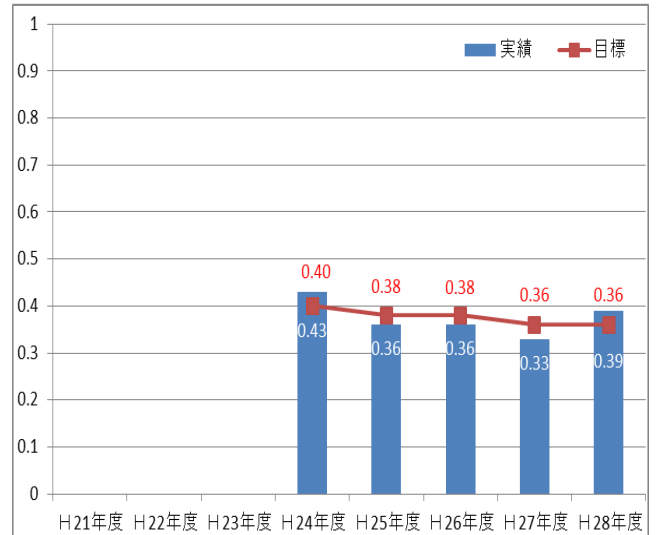
取組内容

計画的な運行計画により、無理な運転を避けてエコドライブ運転に努める。

活動結果と評価

社用車の追加もありながら達成できたことは実施成果であると考える。

ガソリン使用量の削減 (L / t)



<平成 29 年度 目標 0.36L / t >

取組内容

計画的な運行計画により、無理な運転を避けてエコドライブ運転に努める。

「 上水使用量の削減 」

平成 28 年度 目標 0.55L / t

平成 28 年度 実績 0.51L / t

達成率 107.3%

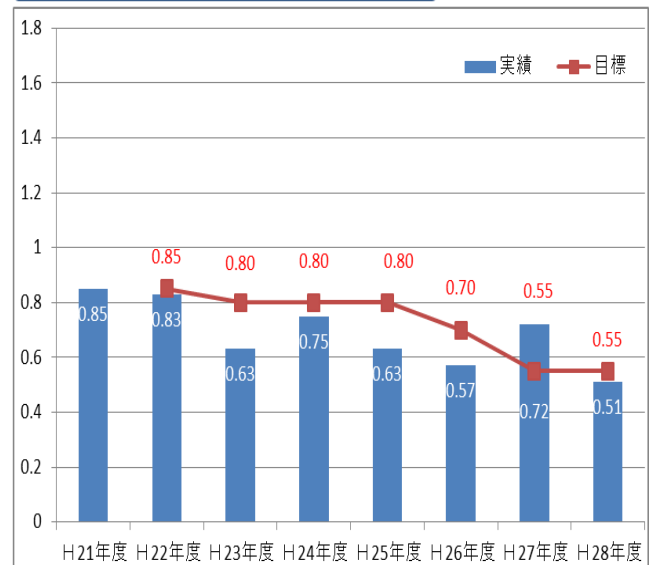
取組内容

調整池水の利用継続と水槽レベル監視強化。

活動結果と評価

プラント清掃に使用する水も雨水を利用したことも大きく影響した。

上水使用量の削減 (m³ / t)



<平成 29 年度 目標 0.50L / t >

取組内容

調整池水の利用継続と水槽レベル監視強化。

「 温室効果ガスの削減 」

平成 28 年度 目標 12.5k g-CO₂/t
 平成 28 年度 実績 12.2k g-CO₂/t
 達成率 102.1%

取組内容

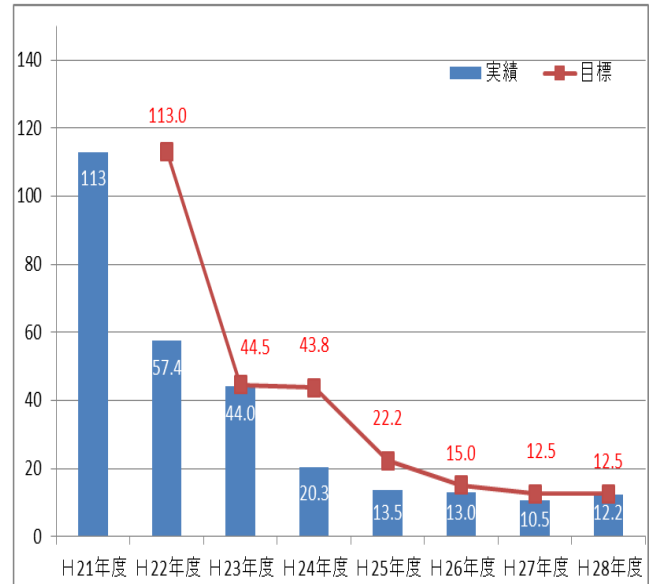
重油や軽油使用量の削減と、受電電力量の削減。

活動結果と評価

受電電力量の削減が大きく寄与し、目標を達成する事ができた。

*平成 26 年度の電気事業者別二酸化炭素
 排出係数：0.000572 (t-CO₂/kWh)

温室効果ガスの削減 (kg-CO₂/t)



<平成 29 年度 目標 12.0k g-CO₂/t >

取組内容

重油や軽油使用量の削減と受電電力量の削減。

「 発電電力量の増加 」

平成 28 年度 目標 220.0kWh/t
 平成 28 年度 実績 240.6kWh/t
 達成率 109.4%

取組内容

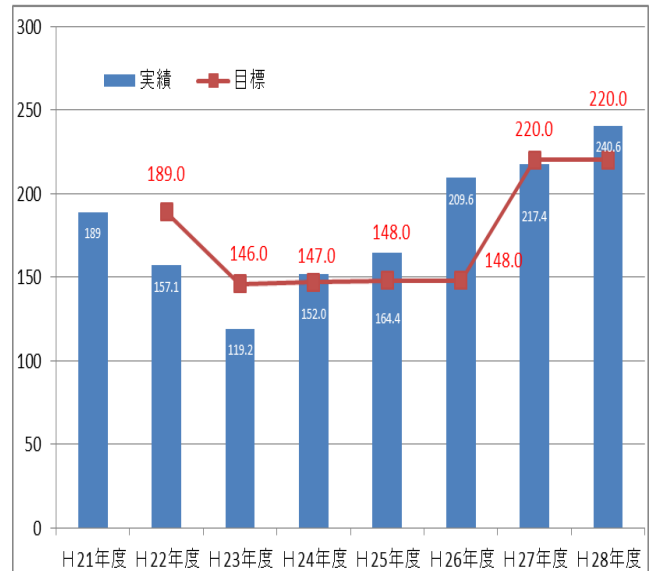
廃棄物の性状を均一化させるためのゴミ攪拌を定期的に行う

活動結果と評価

年度を通して計画的なプラント稼働ができたことで発電も安定的に行えた。

*二酸化炭素排出係数：0 (t-CO₂/kWh)

発電電力量の増加 (kWh/t)



<平成 29 年度 目標 250.0kWh/t >

取組内容

廃棄物の性状を均一化させるためのゴミ攪拌を定期的に行う。

「 廃棄物受託量の増加 」

平成 28 年度 目標 23,900 t / 年

平成 28 年度 実績 24,239 t / 年

達成率 101.4%

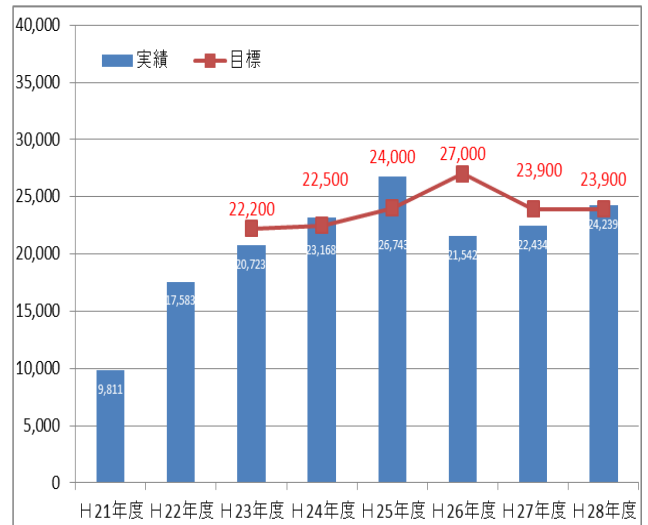
取組内容

継続的な顧客営業と新規顧客獲得へ注力する。

活動結果と評価

搬入量が減る冬季に予想より多く搬入されたことは顧客増加が大きいと考える。

廃棄物受託量の増加 (t / 年)



<平成 29 年度 目標 24,500 t / 年>

取組内容

継続的な顧客営業と新規顧客獲得へ注力する。

「消石灰使用量の削減」

平成 28 年度 目標 25.0 k g / t

平成 28 年度 実績 29.4 k g / t

達成率 82.2%

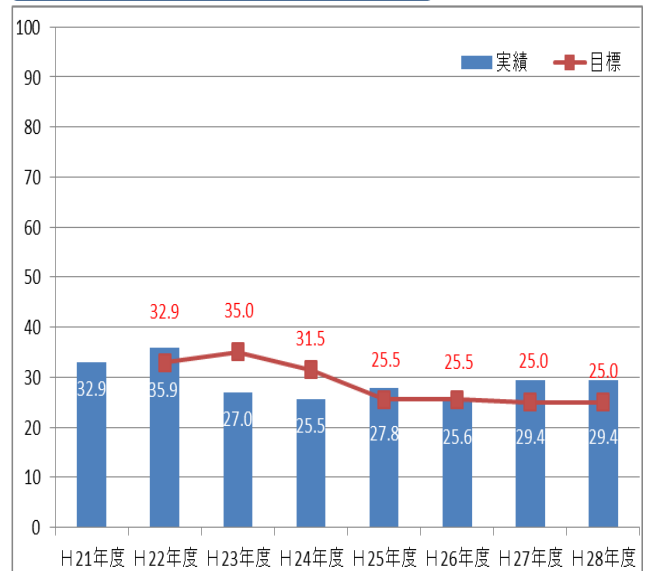
取組内容

消石灰設定値の小まめな変更により更なる削減を行う。

活動結果と評価

設定値変更のタイミングを合わせる事ができず、未達となった。

消石灰使用量の削減 (k g / t)



<平成 29 年度 目標 25.0 k g / t >

取組内容

消石灰設定値の小まめな変更により更なる削減を行う。

「グリーン購入率の増加」

平成 28 年度 目標 72.0%/年

平成 28 年度 実績 86.0%/年

達成率 119.4% (実績値/目標値×100)

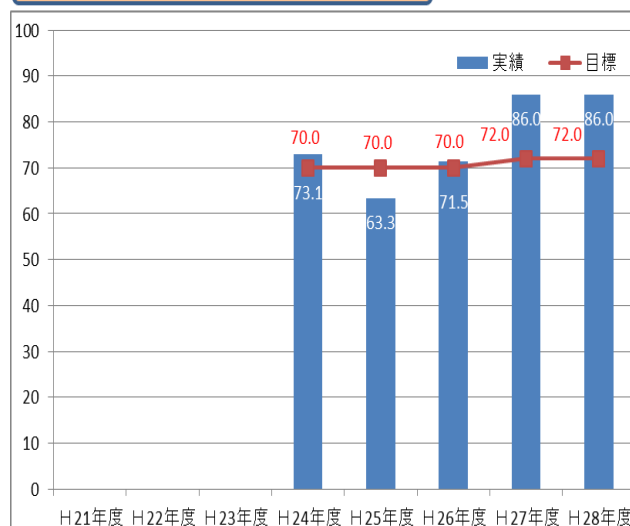
取組内容

グリーン商品とエコリサイクル商品を積極的に購入する。

活動結果と評価

積極的に当該商品を選定した結果達成できた。

グリーン購入率の増加 (%/年)



<平成 29 年度 目標 90.0%/年>

取組内容

グリーン商品とエコリサイクル商品を積極的に購入する。

10. 環境関連法規類の遵守状況

地域住民等からのクレーム、関係機関の行政処分、並びに訴訟等は過去 3 年間ありませんでしたが、排ガス分析計の測定値を不正に操作していたことを平成 28 年度中に把握し、岩手県及び九戸村に報告したとともに、把握した事実を対外的に公表しました。

排ガス分析計を不正操作出来ないようにハード対策を講じたとともに、更なる対策として社外で通常操業の状況を細部に至るまで監視できる遠隔監視システムを導入して外部監視も行っています。また、全社員に対するコンプライアンス・リスク管理についてのソフト面の教育も継続的に行い再発防止に努めております。

11. 代表者による全体の評価と見直し

1. 結果に対する評価

平成 28 年度は 3 項目で未達となったが、活動内容については良く実施してくれたと判断する。特に受電電力量の削減はすばらしい結果であった。

2. 全体の見直し

目標達成した項目は目標設定値が適当であったと考える。ただし、受電電力量は大きな達成率となったことから、次年度の目標値を十分に検討した上で設定すること。

3. 次期取組みへの指示

焼却炉の耐火物が原因で廃棄物供給が滞ることは今後回避しなければならない。今後の焼却炉メンテナンス計画から見直しを行うこと。

12. 環境保全活動

イベント関係

実施日	実施項目	実施内容
4月16日	クリーン九戸行動日	九戸村沿道のゴミ拾い活動
6月18日	草刈り作業	施設内のほか、周辺の草刈り作業
6月23日	小学校見学	九戸村立戸田小学校の3・4年生見学
9月4日	九戸村民スポーツ・レクリエーション大会	ソフトボールの部参加
10月29・30日	九戸村産業・芸術文化まつり	産業部門出展

セミナー・講習会

実施日	実施項目	実施内容
7月14・15日	ボイラ・タービン主任者会議	ボイラ・タービンの管理者会議
7月17～19日	救急救命講習	心肺蘇生法・AED使用方法
8月24日	産業廃棄物処理事務者研修会	産業廃棄物処理についての基礎コース
11月4日	環境セミナー	環境カウンセラー制度・EDS活動の支援について
11月11日	エコスタッフ養成セミナー	省エネ等の取組みの中心となる人材育成
11月11日	水銀大気排出規制の実施に向けた説明会	大気汚染防止法の一部改正する法律について
11月15日	ダイオキシン類ばく露防止特別教育	ダイオキシン類の有害性や保護具の使用方法等
1月24日	産業廃棄物排出事業者を対象とした実務研修会 基礎コース	廃棄物処理法の基礎や産業廃棄物管理の実務、各付け制度について
2月10日	環境マネジメントスキルアップセミナー	環境マネジメントを推進する人材育成の強化
3月10日	安全衛生研修会	安全衛生規定の作成とリスクアセスメントの必要性

教育・訓練

実施日	実施項目	実施内容
10月26日	避難訓練・消火訓練	二戸消防署九戸分署による訓練指導
11月22日	健康教育	九戸村保健衛生班の保健師による健康教育
1月9日	拡散防止訓練	廃棄物の漏洩を想定した訓練
1月12日	地震訓練	地震による炉停止を想定した訓練

クリーン九戸行動日

平成28年4月16日に「クリーン九戸行動日」が行われ当社からは16名が参加しました。社員の子供達も参加し道路脇に落ちてあるゴミをたくさん拾いました。また、「クリーン九戸行動日」は、地域の方々や各企業の方々との交流の場でもあります。色々なコミュニケーションを図ることができる有意義な活動となりました。

今後はポイ捨ての無い、きれいな道路を子供達に見て欲しいと思います。



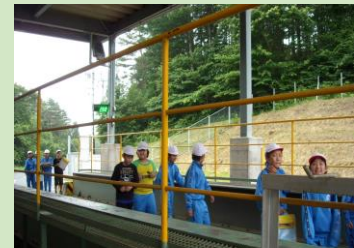
岩手県議会議員（環境福祉委員会）視察

平成 29 年 2 月 7 日に岩手県議会環境福祉委員会（9 名）のご視察をいただき、工藤副議長様・五枚橋九戸村長様・岩手県資源循環推進課様・県北広域振興局様・議会事務局様にもご参加いただき、計 24 名様の大視察会となりました。開業から当日までの弊社の運営状況のほか、不法投棄廃棄物や震災廃棄物についてもお手伝いをしたこと、又、昨年 7 月に公表しました不適正事象の内容と再発防止策の内容などをご報告・ご説明いたしましたところ、「今後とも環境に配慮し、地域になくはない企業として頑張ってください」との温かいお言葉を頂戴しました。前日に降った雪の為足元の悪い中ご来場いただきありがとうございました。



戸田小学校 3、4 年生の皆さんが見学に来てくれました

平成 28 年 6 月 23 日に戸田小学校より 3、4 年生 14 名が見学に来社しました。ゴミ処理施設の見学ということで、初めて見る大きな施設や大小様々なゴミが処理される様子を目の当たりにし「一日にどのくらいのゴミを燃やしているの?」「ゴミを運ぶ車ってどんな車?」という身近な疑問から、「燃やしにくいゴミはどうするの?」「燃やした後の灰はその後どうなる?」という施設そのものについての質問もあり、児童の皆さんの強い学習意欲を感じました。



環境報告会(事業報告会)

平成 29 年 2 月 28 日に平成 28 年度環境報告会（事業報告会）を行いました。地域の方々をはじめ、各協会団体様、環境関連企業様、岩手県様、九戸村様等々、沢山の方にお越しいただき、日頃の事業の内容や環境活動を紹介させていただきました。



平成 28 年度 避難訓練

平成 28 年 10 月 26 日に二戸消防署九戸分署様ご指導のもと、避難訓練を行いました。火元は廃棄物の保管場所という想定で、火災発見時の連絡や場内放送などの確に行い、全従業員が素早く避難できました。衣服に燃え移った場合は、すぐに寝転がり近くにいる人は上着などで叩く初期消火方法等も教えていただきました。また、水消火器を使った消火訓練を代表で 5 人ずつ 2 組行いました。暖房機器を使う時期なので、非常時に備え消火器の使い方は覚えておくべきだと思います。



九戸村産業・芸術文化まつり

平成 28 年 10 月 29 日～30 日に行われた「九戸村産業・芸術文化まつり」に参加しました。今回で 5 回目の出展となりましたが、沢山の地域の方々に立ち寄っていただき、日頃の事業活動・環境活動等を紹介することができました。これからも地域と密着した事業運営に努めて参りますので、宜しくお願いいたします。



12. 資格・免許・認定

	資 格 ・ 取 得	取得者数
E	エコスタッフ講習	2名
C	環境社会検定試験（ECO検定）	2名
O	エコドライブ講習	1名
管 理 士	産業廃棄物処理施設技術管理士	2名
	一般廃棄物処理施設技術管理士	3名
	破碎・リサイクル施設技術管理士	1名
	2級土木施工管理士	1名
廃 棄 物	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	3名
	特別管理産業廃棄物処理業に関する講習（処分業課程）	1名
	特別管理産業廃棄物処分業に関する講習（収集・運搬業課程）	1名
	産業廃棄物処理実務者研修会基礎コース	7名
車 輜	第一種普通自動車免許	33名
	第一種大型自動車免許	5名
	大型特殊自動車免許	6名
車 輜 整 備	ガソリン自動車整備士2級	1名
	ガソリン自動車整備士3級	1名
	ディーゼル自動車整備士3級	1名
	シャシ整備士3級	1名
ボ イ ラ	第2種ボイラ・タービン主任技術者	1名
	1級ボイラ技士	12名
	2級ボイラ技士	14名
	ボイラ整備士	2名
	ボイラ取扱従事者安全衛生教育	1名
電 気	第二種電気工事士	3名
	低圧電気取扱者教育	1名

12. 資格・免許・認定

	資 格 ・ 取 得	取得者数
危 険 物	甲種防火管理者	1名
	乙種第4類危険物取扱者	15名
	乙種第5類危険物取扱者	1名
技 能 講 習 ・ ク レ ン ン	車両系建設機械（整地等）	20名
	車両系建設機械（解体）※特例講習含む	20名
	フォークリフト技能講習	26名
	玉掛け技能講習	8名
	ガス溶接技能講習	18名
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	17名
	有機溶剤作業主任者技能講習	5名
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	4名
	足場組立作業主任講習	1名
	小型移動式クレーン運転技能講習	3名
	床上操作式クレーン運転技能講習	2名
	クレーン運転業務特別教育	25名
特 別 教 育	ダイオキシン類ばく露防止特別教育	2名
	ダイオキシン類特別教育	26名
	安全衛生推進者養成講習	3名
	安全衛生推進者能力向上教育	1名
	アーク溶接特別教育	15名
	粉じん作業特別教育	1名
	ローラー運転業務に係る特別教育	1名
	チェーンソー伐木業務特別教育	1名
	普通救急救命講習	32名
	自由研削用といし作業特別教育	5名
	刈払い機作業安全衛生教育	2名
	高所作業車運転技能講習特例講習	2名

【所在地案内図】



いわて県北クリーン株式会社
(Iwate-Kenpoku Clean Co.,Ltd.)